

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '小中学校適正配置実施計画推進事業' and '学校教育の充実'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about student trends and implementation goals.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '適正配置に関する相談対応数' and '市内の児童生徒数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費計).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business costs) with columns for 28年度実績 (千円) and 29年度事業費 予算 (千円). Includes '11 需用費'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 29年度, 30年度, and 31年度の事業内容. Includes implementation details like '適正配置に関する相談対応' and 'アンケート実施'.

事務事業名	小中学校適正配置実施計画推進事業	事務事業No.	30101000930	所属課	学校教育課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
少子化の進行により、小中学校の児童・生徒数が減少し、平成20年度から適正規模・適正配置の検討を開始した。H22年に答申がなされ、平成24年から具体策検討を開始し、平成25年に小中学校適正配置基本計画の答申を受けた後、教育委員会の承認を経て議会に報告し、これを基に平成26年度、地域ごとに説明会等を開催した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせ小中一貫教育校設立の要望・請願が行われた。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	適正配置基本計画の説明会実施により、市の考える適正配置のあり方をお知らせした形になったが、住民の中には既に決定事項であることとらえている方もいるため、今後もアンケートや懇談会を実施し、地域の意見を尊重しながら適正配置を進めること、必ずしも計画にある通りに統合するものではないことを周知していく事が必要。 また、地域により当事者意識に差があるため、桃山中学校区の統合・小中一貫教育校の開校を広くPRすることにより、全ての住民に興味・関心を持ってもらうことで、身近な問題として捉えてもらえるようにする。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	公立小中学校は桜川市が運営・管理しており、その適正配置については政策体系に深く結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	公立小中学校の維持管理は市の予算で行っており、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	平成26年に発表した適正配置基本計画に比べて学校の適正配置は進んでおらず、向上余地はある。しかし、学校は地域の象徴であり、住民感情に配慮しながら進める必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	基本計画で示した適正規模が達成されず、市が適正と考える児童生徒の教育環境が維持できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業等はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費はないため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内すべての公立小中学校について計画の基準に合わせて適正配置を進めるものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	桃山中学校区においては計画通り統合が進められているが、他の学校区では住民意見の集約ができず進んでいない状況である。 そのような中、平成29年1月には桃山中学校区以外の学校区において保護者アンケートを実施した。 今後はアンケート結果を元に適正配置を推進するほか、未就学児の保護者を対象としたアンケートの実施も計画する。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
学校は地域のシンボルであり、住民の思い入れも強い施設であることから、住民の意見を集約していく必要がある。 学校区によっては統合に強い拒否反応を示す地域もあることから、慎重に進めたい。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続 (現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>